

2020年2月27日  
**ユニチカ株式会社**

## 環境配慮型 食品包装用ポリエステルフィルム「エンブレット CE」 の開発について

ユニチカ株式会社（本社：大阪府中央区 社長：上埜修司）は、ユニチカグループで推進する『for the EARTH』※活動の一環として、ケミカルリサイクルによる再生資源を有効活用した食品包装用ポリエステルフィルム「エンブレット CE」を開発しました。先に発表したケミカルリサイクルナイロンを用いた食品包装用ナイロンフィルム「エンブレム CE」に続き、当社では二素材目の環境配慮型食品包装用フィルムとなります。「エンブレット CE」はすでに、岡崎事業所（愛知県岡崎市）と宇治事業所（京都府宇治市）内の既存生産設備にて生産方法を確立しており、顧客へのマーケティング活動を開始しております。

※『for the EARTH』＝ユニチカグループでは、エコ素材・環境関連製品と活動をひとつのテーマ、地球のために＝for the EARTH という名のもとで最重要課題として取り組みを推進しています。

### 1. 「エンブレット CE」開発の背景について

昨今の環境問題への意識の高まりの中、循環型社会による持続可能な成長社会を目指す“Circular Economy: CE”（循環経済）の考えに基づいて、植物由来の原料を用いたフィルムや、市場から回収されたプラスチックをリサイクルしたプラスチックフィルムが環境配慮型フィルムとして使用され始めています。

今回開発した環境配慮型ポリエステルフィルム「エンブレット CE」は「エンブレム CE」と同じく、当社の重合設備にてケミカルリサイクルを行い、再生したポリエステル樹脂を使用したフィルムです。ケミカルリサイクルは、製品として利用できない、もしくは使用済みのプラスチックフィルムや成形品等を化学的に分解することでプラスチック原料に戻し、異物を取り除いた後、再重合により再度製品として使用する方法です。

### 2. 「エンブレット CE」の特長などについて

「エンブレット CE」は、ケミカルリサイクルポリエステルとフィルムの製造工程内で発生した端材等を利用したマテリアルリサイクルを併用することで、機械物性、印刷適性などを損ねることなく、再生材料の利用比率を50%以上にすることが可能です。さらに、リサイクルする原料を厳密に管理することで、食品包装用途への使用を可能にしました。

